

◎6月後半全校集会講話 【6月24日（月）】

前回の集会では、中原の地名の由来について話をしました。今回は、中原中学校校歌の作曲者について話をしました。

学校要覧によると、本校校歌は昭和28年4月27日に制定されています。作詞者は宮崎安一氏、作曲者は池内友次郎（いけのうち ともじろう）氏です。宮崎氏については現在調査中ですが、ご本人直筆の校歌歌詞の掛け軸が校長室にあります。詳しく分かり次第、お知らせしたいと思います。今回は、作曲者である池内友次郎氏について紹介します。

池内氏は、『ホトトギス』で有名な高浜虚子の次男として1906年に東京で生まれました。この方は、日本人として初めてパリ音楽院に入学され、フランス流の作曲技法を日本に紹介されています。また、東京芸術大学作曲科教授として日本の音楽家の育成に尽力され、日本の音楽界では著名な方です。1991年に84歳でご逝去されていますが、全国の高校や中学校の校歌も手掛けられており、本校校歌もそのうちのひとつと思われます。

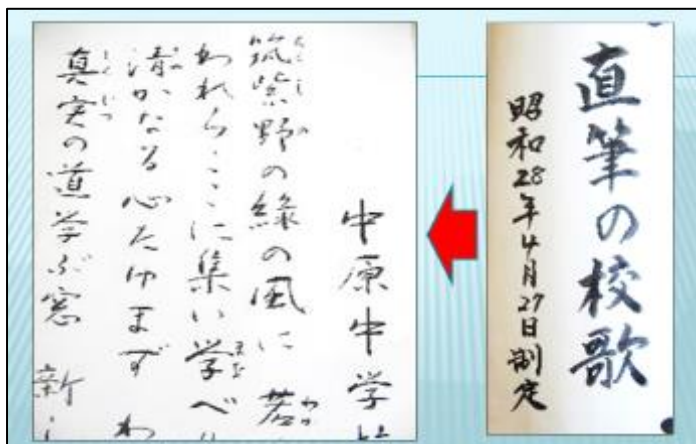
昭和32年の学校要覧からは、池内氏の校歌楽譜が掲載されていますが、昭和30年の学校要覧には陶山 聰（すやま さとし）氏の楽譜が掲載されていました。このことから考えられることは、校歌制定当初の陶山氏のもの、昭和31年頃池内氏が作曲されたものに代わったようです。ちなみに陶山氏も佐賀では有名な方で、鳥栖地区の小中学校の教諭をされ、佐賀県の東部地区を中心に校歌や社歌など3000以上作曲されています。近隣の学校では、中原小、鳥栖中、田代中、基里中、鳥栖西中、北茂安中、三田川中、神埼中、鳥栖商業高校などの校歌も作曲されています。中原中学校HPには、陶山氏が作曲されたメロディもアップしています。



中原中学校 校歌

作詞 宮崎 安一

作曲 池内友次郎



池内 友次郎
いけのうち ともじろう

1906年生～1991年 84歳没
高浜虚子の次男

日本人初パリ音楽院入学
→ フランス流作曲技法

東京芸術大学 作曲科教授

校歌

昭和30年（1955年）学校要覧より

作詞 宮崎安一
作曲 陶山 聰

陶山 聰（すやま さとし）

鳥栖市出身 1907～1999年

鳥栖の小中学校教諭
校歌や社歌 3000以上作曲

【小学校】
鳥栖小、麓小、旭小、三根東小、三田川小、東脊振小、中原小

【中学校】
鳥栖中、田代中、基里中、鳥栖西中、三田川中、神埼中、三瀬中、北山中、北茂安中

【高校】鳥栖商

1964年頃
佐賀新聞記事より引用